

# 目録の現在と未来

平成22年度大学図書館職員短期研修

平成22年10月 6日（京都）

平成22年11月10日（東京）

横浜国立大学  
図書館・情報部 図書館情報課 雑誌管理係  
平田義郎

# 目録規則の国際状況

- FRBR
- ICP
- ISBD
- RDA

# FRBR

- 書誌レコードの機能要件（1998）  
Functional Requirements for Bibliographic Records
- 書誌レコードを分析（実体）
  - Work（著作）
  - Expression（表現形）
  - Manifestation（体現形）
  - Item（個別資料）
  - 第2グループ：個人，団体，（家族）
  - 第3グループ：概念，物，出来事，場所

# FRBR

- **各実体の持つ属性**
  - 各実体ごとに固有の属性がある。
- **各実体の関連**
  - **主要な関連**
    - 著作 - 表現形 - 体現形 - 個別資料
    - 著作等 - 個人・団体「創造」「実現」「製作」「所有」
    - 著作 - 主題
  - **その他の関連**：複製，補遺，全体と部分，模造...
- **利用者タスク**
  - 発見 (find)
  - 識別 (identify)
  - 選択 (select)
  - 入手 (obtain)

# ICP

- **国際目録原則**  
Statement of International Cataloguing Principles
- **パリ原則（1961年）に続く新しい目録原則**
- **目録規則に関するIFLA専門家会議（IME-ICC）で検討し，2009年2月公開**

# ICP

- **標目を中心とする原則（パリ原則）**  
→FRBRを基にした書誌レコード，典拠レコードを中心とした原則

# ISBD

- **国際標準書誌記述**  
International **S**tandard **B**ibliographic **D**escription
- **ISBDの改訂**
  - ISBD (G:General) 2004改訂
  - ISBD (M:Monographic Pub.) 2002改訂
    - FRBRとの整合性
  - ISBD (CR:Continuing Resources) 2002改訂
    - ISBD (S:Serials) を改訂
    - 継続資料＝逐次刊行物＋更新資料
    - 改題時の新しい書誌レコードの作成に関する指示
  - ISBD (Consolidated Edition)
    - ISBDの統合版
    - Preliminary (予備版) 2007

# ISBD

- **統合版の作成**
  - **資料種別ごと→統合版**
- **エリア0の新設**
  - **GMD（一般資料種別）→内容形式と媒体種別**



# AACR2

- **英米目録規則第2版**  
**A**nglo-**A**merican **C**ataloguing **R**ules, **2**nd ed.
- **AACR2の改訂**

1978	AACR2の発行
1982	日本語版発行
2002	2002年改訂版の発行
2003	AACR3改訂作業開始
2005	AACR→RDAに名称変更
2010	RDA発行

# RDA

- Resource Description and Access
- RDAの特徴
  - FRBRへの対応
  - 資料種別の構成→エレメント別構成
  - シンタックスは扱わない。

# 日本目録規則の改訂

- **日本目録規則改訂の歴史**

1987      1987年版発行

1994      1987年版改訂版

8・10・11章の追加

2001      1987年版改訂2版

9章 電子資料

2006      1987年版改訂3版

2章（図書），3章（書写資料）の改訂

13章（継続資料）の改訂

2010      201×年版改訂方針の公表

# 日本目録規則の改訂

- **日本目録規則201×年版改訂の方針**
  - **FRBRモデルに基づく**
  - **従来目録からの継続性**
    - 日本の状況を踏まえた現実的な対応
    - 典拠コントロール, コア・エレメント
  - **日本独自資料への対応**
    - 和古書漢籍の扱い
    - 日本語資料の豊富な実例記載

# NACISIS-CATの現在

- NACISIS-CATとは？
- 書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト
- NIIアクションプラン

# NACISIS-CATとは？

- 日本の書誌ユーティリティ (=Bibliographic utility)
- NACISIS-CAT (目録システム)
  - オンライン共同分担目録
  - 日本の学術資料の総合目録
- NACISIS-ILL (ILLシステム : Inter-Library Loan)
  - ILLサービスでのメッセージ交換
  - 最新の総合目録 (NACISIS-CAT) 情報を参照
- Webcat各種 (NACISIS-Webcat, Webcat Plus, Webcat Plus Minus)
  - 総合目録データベースをインターネットで広く一般公開
  - 連想検索と一致検索 (Plus)
  - NACISIS-CAT以外のデータとの統合 (Plus, Plus Minus)

# 書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト

- NACSIS-CAT/ILLの理念：  
「共同構築」「共同利用」
- NACSIS-CAT/ILLの理念が理解されずに運用
  - 重複レコードの発生率上昇
  - 雑誌所蔵レコードの未更新率上昇
  - ILL謝絶率の上昇
- 調査・分析と問題点の指摘（2004-2005）  
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/kadaipt.html>
  - NIIの対応 → NIIアクションプラン
  - 参加館の対応 → 国立大学図書館協会，私立大学図書館協会での検討

# NIIアクションプラン

- **NACSIS-CAT/ILL運用ガイドライン  
運用ガイドライン案（2010.3）**
- **外注のための仕様書モデルの提示**  
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/gaichu.html>
- **研修の強化と資格・認定制度の提案  
目録所在情報サービスを対象とする講習会等に関する  
検討WG**  
<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/cat-tr-wg/index.html>
- **図書書誌レコード調整方式の改善  
NACSIS-CATレコード調整WG**  
[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/recordwg\\_report.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/recordwg_report.html)
- **雑誌所蔵更新への強制力  
雑誌所蔵未更新リストの配布**
- **図書館評価のための基礎的数値の開示  
業務分析表**



# NACISIS-CATの未来

- 次世代目録所在情報システムの在り方について
  - 中長期的視点から今後の在り方（方向）を検討
  - 図書館連携作業部会 次世代目録WG
    - 『次世代目録所在情報サービスの在り方について（中間報告）』（平成20年3月）
    - 『次世代目録所在情報サービスの在り方について（最終報告）』（平成21年3月）

# 次世代目録（1）電子情報資源

- NACSIS-CATに電子情報資源の入力が進まない
- 新しい資源発見システム → 電子情報資源データバンク
  - 出版社，アグリゲータ，書誌作成機関から提供される書誌データを活用
  - 各参加館のアクセスデータ（ERMSなどから）を格納
  - NACSIS-CATと同時に検索可能

# 次世代目録（２） データ構造

- NACISIS-CAT特有のデータ構造＝データ交換等に不向き
- 目録規則，メタデータスキーマなどの動向
  - FRBR，国際目録原則，ISBD改訂，RDA，NCR，MARCXML，MODS ...
- 当面は変更なし。MARC21などでのデータ出力機能を検討

# 次世代目録（3）API

- 現在のインターフェイス：  
CATP, Z39.50, Webcat各種
- Webの最新技術を用いたAPI公開要求の高まり
- 提供範囲, 提供内容, アクセス制限などを考慮しながら, 提供を検討

# 次世代目録（４）外部データの活用

- MARCからの直接入力
  - 人の手を掛ける必要のないレコードはできるだけ手を掛けない。
- 主題データの充実
  - 外部データを活用して，NACISIS-CATのデータを豊富にする。

# 次世代目録（5）共同分担方式の最適化

- 参加館の多様化
  - 書誌レコードの品質のばらつき
  - 取り組みの差
- 従来の共同分担方式 → 現状に合わせた共同分担方式の模索
  - 目録センター館
  - インセンティブモデル
  - 参加機関のレベル分け

# 目録の未来??

- OCLC
- LC
- 国立国会図書館
- Google
- 次世代OPAC
- リンクリゾルバ
- and more...

# 目録の未来??

- 垣根のないメタデータの世界
- 図書館の作成するメタデータとは？
- 図書館の提供するメタデータとは？